入学を控えて親の心構えを

昨年１０月、比角小学校の新年度入学児の親対象に講演を行った。自らの教職経験を生かして入学前の親の心構えについて事例を交えて熱く語った。

１つ目に親は子供を目と心でしっかり見ること。日々、子供が発信する小さなサインを見逃さず、学校と情報共有してほしい。２つ目に親は子供が良いことをしたら褒めて、悪いことをしたら叱ること。叱っても怒ってはいけない。「怒る」は子供へ一方的に感情をぶつけてストレスや反発を残させるだけだ。「叱る」は事の善悪をきちんと教えて納得させることだ。３つ目に親は子供に基本的な生活習慣を身に付けさせること。特に「早ね・早おき・朝ごはん」を徹底する。これは、子供が学校生活を送る上で重要な基盤となるからだ。締めくくりに、入学式までに通学路を親子一緒に徒歩で２回登校練習すること。親の目で通学路の状況を確認して危険個所等を子供に言い聞かせてほしい。親自ら汗をかくことは、子供に自覚を促すことになる。

２月初めの学校の調査によると、１回以上の登校練習した親子がすでに７組いるとのことだ。素晴らしい。さらに増えることを期待している。

もうすぐ入学式だ。一人一人の子供たちが希望に満ちて充実した学校生活を送れるよう切に願っている。